

えがお

2 年学年通信

第 18 号

12 月 14 日

立志式

令和 4 年 11 月 30 日(水)フォルテで野々市市、野々市市教育委員会が主催として立志式を開催してくださいました。式典では、布水中代表の松平さんが市民憲章を唱和し、生徒を代表して山下さんが力強く将来の夢などについて誓いの言葉を述べました。

進路学習がスタートし、この立志式を機に新たな決意や志を持たれたことと思います。みなさんの話を聴く姿勢も成長しているなど強く感じました。これからも向上心を持ちながら、Hop, Step, Jump!!ですね。

～立志式の感想より～

立志式を終えて、自分にはまだ課題があると思いました。それは夢や目標に対する志がないことです。式の前は「志」という意味はあまりわかっていませんでした。「志」とは、夢や目標があり、それを達成して何をしてみたいかということでした。今日の話聞いて特に思ったことは「志」があるからこそ夢や目標が叶うということです。今から自分の夢に向き合って、「志」を決めていきたいです。(27H)

これから先、自分の未来を創っていくために、「折れない心」をつくるということが印象に残りました。自分はすぐいろんなことで折れることが多いので、15 歳という歳になって折れない心をつくっていくことは、これからの社会にも必要なことで、大切なことだと思いました。卒業してからの生活や人生、どんな仕事に就くか、など、今から自分を見つめ直すチャンスだと思って、これからの人生を歩んでいきたいと思いました。(25H)

立志式を終えて思ったことは、子供ではなくもうあとと少しで大人になるということ強く実感しました。立志とは、志を立てることで、将来のために勉強や部活をしっかりと取り組んでいきたい。これから大きな困難や、大きな決断の日が来るかもしれないけど、恐れずに進んでいきたい。今まで支えてきてくれた人や、これからも支えてもらう人に大人になったときに恩返しができるように立派な大人になれるようにがんばっていかうと思える式になりました。(24H)

進路学習スタート

12 月 9 日(金)に石川県立野々市明倫高等学校の釜田副校長先生と本校卒業生 3 名が、進路のことや高校生活等についてわかりやすくお話をしてくださいました。大変興味深い内容で、クイズ形式や高校生が本音を語ってくれて、より親近感がわいたのではないのでしょうか。あと 1 年でみなさんは進路を決定することになります。自分が何をしたいのか、じっくりとこの冬休みに考えてみてはどうでしょうか。

～進路学習会の感想より～

最初は高校は勉強をするための場所で、もっとかたいイメージがあったけど、先輩方の話を聴いたり部活動の様子の映像を見て、中学校よりも自由に学んだり、部活動や文化祭など仲間と楽しく過ごせる場所だとわかりました。部活動は、多種多様でとてもおもしろそうで魅力的だと感じました。一方で、毎授業の提出物、週末課題があるのは、提出物を出すのが苦手な自分にとって大変だと感じました。決して残り長くない中学校生活を高校生になる準備のために、勉強面と生活面どちらも気持ちを切りかえていこうと思いました。また高校では 5 教科が複雑に分かれて教科が増えると言っていたけど、どれがどんなふうになるのかも知りたいと思いました。今回の講演を貴重な資料として参考にしようと思いました。(22H)

